



2020年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月10日

上場会社名 株式会社オハラ 上場取引所 東
 コード番号 5218 URL https://www.ohara-inc.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)齋藤 弘和
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員 (氏名)中島 隆 (TEL)042(772)2101
 四半期報告書提出予定日 2020年9月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第3四半期の連結業績(2019年11月1日~2020年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第3四半期	13,443	△26.2	△1,422	—	△1,234	—	△1,541	—
2019年10月期第3四半期	18,223	△10.9	1,216	△50.2	1,327	△50.9	152	△93.7

(注) 包括利益 2020年10月期第3四半期 △2,738百万円(—%) 2019年10月期第3四半期 △524百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第3四半期	△63.33	—
2019年10月期第3四半期	6.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第3四半期	52,333	38,709	73.9
2019年10月期	55,036	41,813	76.0

(参考) 自己資本 2020年10月期第3四半期 38,694百万円 2019年10月期 41,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年10月期	—	0.00	—		
2020年10月期(予想)				—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において4月30日(第2四半期末日)及び10月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日~2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	△25.7	△2,200	—	△1,800	—	△2,200	—	△90.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社、除外 - 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年10月期3Q	25,450,000株	2019年10月期	25,450,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年10月期3Q	1,110,978株	2019年10月期	1,110,938株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年10月期3Q	24,339,047株	2019年10月期3Q	24,333,397株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託 (BBT)」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)」(資産管理サービス信託銀行株式会社より2020年7月27日付で商号変更)が保有する当社株式 (2020年10月期3Q 88,500株、2019年10月期 88,500株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行したことにより、アジア、米国、欧州の各地域の景気は急速に悪化し、厳しい状況となりました。

当社グループの光事業の関連市場では、デジタルカメラは、従前からの需要減少傾向に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、更に需要が減少しました。また、エレクトロニクス事業の関連市場では、光通信向け硝材の需要は増加したものの、FPD露光装置向け硝材は弱含みで推移しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、光学機器用レンズ材の需要が大幅に減少したことや、スマートフォン筐体向け硝材においてサプライチェーンの工程認定に遅延が生じたことなどから、13,443百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

損益面では、売上総利益は、生産設備の稼働が低下したことなどから、2,580百万円（同56.7%減）となりました。販売費及び一般管理費は、4,002百万円（同15.7%減）となり、営業損失は1,422百万円（前年同期は1,216百万円の営業利益）となりました。経常損失は、営業外収益として受取配当金や助成金収入を計上したことなどにより、1,234百万円（前年同期は1,327百万円の経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、1,541百万円（前年同期は152百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前第2四半期連結会計期間より、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。詳細については、（セグメント情報等）をご覧ください。

① 光事業

当事業の売上高は、光学プレス品の販売が低調に推移したことなどから、7,215百万円（前年同期比34.3%減）となりました。損益面では、生産設備の稼働率低下や子会社の清算に伴う追加費用を計上したことなどにより、営業損失は820百万円（前年同期は537百万円の営業利益）となりました。

② エレクトロニクス事業

当事業の売上高は、光通信向けフィルター材の販売は増加したものの、FPD露光装置や宇宙・天文向け極低膨張ガラスセラミックスの販売が減少したほか、スマートフォン筐体向け耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム™」について、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限により、サプライチェーンの工程認定に遅延が生じたことなどから、6,228百万円（前年同期比14.1%減）となりました。損益面では、生産設備の稼働率低下や棚卸資産の評価減を計上したことなどにより、営業損失は602百万円（前年同期は679百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は52,333百万円（前連結会計年度末比4.9%減）となりました。これは主に、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金や投資有価証券が減少したことなどによるものであります。

流動資産の残高は28,658百万円（同3.8%減）となりました。これは、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金や商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が減少したことなどによるものであります。

固定資産の残高は23,674百万円（同6.2%減）となりました。これは、使用権資産を計上したものの、投資有価証券が時価評価により減少したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は7,494百万円（同2.9%減）となりました。これは、短期借入金が増加したものの、資産除去債務が減少したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は6,130百万円（同11.4%増）となりました。これは、繰延税金負債が減少したものの、リース債務や長期借入金が増加したことなどが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は38,709百万円（同7.4%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績及び足元の状況を踏まえ、2020年6月11日に公表した2020年10月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。

営業損益では、光事業において、第3四半期の受注減少が想定よりも小幅に留まったことに加え、グループ全体でコストコントロールを徹底したことから、前回予想を上回る見通しとなりました。

また、第4四半期の売上は、第3四半期同等の低い水準が続く見込みであり、収益体質の改善に向けた在庫削減のため、一時的に国内生産拠点の溶解炉を停止し、生産調整を行うことから、第3四半期と比較して第4四半期に損益が悪化する見込みです。

経常損益では、営業外収益として、助成金の受給を見込んでおります。

2020年10月期通期連結業績予想数値(2019年11月1日～2020年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,400	百万円 △2,500	百万円 △2,200	百万円 △2,600	円銭 △106.82
今回修正予想(B)	17,400	△2,200	△1,800	△2,200	△90.39
増減(B-A)	—	300	400	400	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年10月期通期)	23,407	901	1,146	466	19.16

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,507,306	12,720,055
受取手形及び売掛金	4,686,032	3,983,034
電子記録債権	1,429,235	1,204,077
商品及び製品	3,552,943	3,306,013
仕掛品	5,216,888	4,743,036
原材料及び貯蔵品	2,812,283	2,344,957
短期貸付金	173,000	—
その他	478,300	406,870
貸倒引当金	△60,605	△49,118
流動資産合計	29,795,385	28,658,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,804,314	13,810,501
減価償却累計額	△8,398,527	△8,688,343
建物及び構築物(純額)	5,405,786	5,122,158
機械装置及び運搬具	17,669,086	17,715,616
減価償却累計額	△14,034,758	△14,420,727
機械装置及び運搬具(純額)	3,634,328	3,294,888
工具、器具及び備品	11,767,649	11,941,139
減価償却累計額	△2,748,751	△2,951,692
工具、器具及び備品(純額)	9,018,897	8,989,446
土地	308,645	311,086
使用権資産	—	456,429
減価償却累計額	—	△52,102
使用権資産(純額)	—	404,327
建設仮勘定	513,398	394,829
有形固定資産合計	18,881,057	18,516,737
無形固定資産	392,959	436,983
投資その他の資産		
投資有価証券	5,304,669	4,056,805
長期貸付金	—	87,000
退職給付に係る資産	82,090	102,535
繰延税金資産	253,461	247,617
その他	326,463	227,116
投資その他の資産合計	5,966,684	4,721,075
固定資産合計	25,240,701	23,674,796
資産合計	55,036,087	52,333,724

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,018,311	805,902
電子記録債務	303,221	296,085
短期借入金	2,334,907	4,024,109
リース債務	247,452	309,397
未払法人税等	321,330	36,597
賞与引当金	631,582	318,662
役員賞与引当金	60,287	42,764
環境対策引当金	—	19,012
資産除去債務	1,417,606	295,865
未払金	798,277	978,864
その他	584,768	366,738
流動負債合計	7,717,745	7,494,000
固定負債		
長期借入金	1,249,060	2,076,749
リース債務	1,001,680	1,196,204
繰延税金負債	1,415,068	1,055,198
退職給付に係る負債	1,448,186	1,430,820
役員株式給付引当金	70,210	78,183
環境対策引当金	24,040	3,725
資産除去債務	89,837	89,837
その他	206,330	199,657
固定負債合計	5,504,415	6,130,376
負債合計	13,222,160	13,624,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,959,708	7,959,708
利益剰余金	28,207,633	26,299,829
自己株式	△1,503,277	△1,503,314
株主資本合計	40,519,064	38,611,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,900,894	968,565
為替換算調整勘定	179,620	△149,624
退職給付に係る調整累計額	△785,653	△735,798
その他の包括利益累計額合計	1,294,862	83,142
非支配株主持分	—	14,981
純資産合計	41,813,926	38,709,347
負債純資産合計	55,036,087	52,333,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年7月31日)
売上高	18,223,173	13,443,927
売上原価	12,258,545	10,863,814
売上総利益	5,964,628	2,580,112
販売費及び一般管理費	4,748,397	4,002,639
営業利益又は営業損失(△)	1,216,231	△1,422,526
営業外収益		
受取利息	42,224	41,213
受取配当金	119,218	77,730
持分法による投資利益	9,252	—
助成金収入	—	71,443
その他	80,822	101,535
営業外収益合計	251,518	291,922
営業外費用		
支払利息	18,363	26,747
為替差損	106,543	51,584
持分法による投資損失	—	5,767
その他	15,594	19,566
営業外費用合計	140,501	103,666
経常利益又は経常損失(△)	1,327,248	△1,234,269
特別損失		
減損損失	44,856	—
関係会社整理損	178,764	—
特別損失合計	223,620	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,103,627	△1,234,269
法人税等合計	950,887	292,139
四半期純利益又は四半期純損失(△)	152,740	△1,526,409
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	14,981
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	152,740	△1,541,390

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	152,740	△1,526,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,840	△932,329
繰延ヘッジ損益	△3,405	—
為替換算調整勘定	△654,478	△338,335
退職給付に係る調整額	37,309	49,854
持分法適用会社に対する持分相当額	△80,905	9,090
その他の包括利益合計	△677,640	△1,211,719
四半期包括利益	△524,899	△2,738,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△524,899	△2,753,110
非支配株主に係る四半期包括利益	—	14,981

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「使用権資産」が404,327千円、流動負債の「リース債務」が53,422千円及び固定負債の「リース債務」が292,776千円増加しております。また、従来投資その他の資産の「その他」に含めて記載しておりました土地使用権60,731千円につきましては、第1四半期連結会計期間より「使用権資産」に振替えております。なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置で認められている、適用開始による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症による影響)

新型コロナウイルス感染症による影響は、経済活動の回復までに相応の時間を要するものと思われま

す。現時点で入手可能な情報をもとに、当第3四半期連結累計期間における会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損会計の適用等）については、当連結会計年度末に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に縮小していくことを前提とした業績予測数値により実施しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	10,974,648	7,248,525	18,223,173
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,974,648	7,248,525	18,223,173
セグメント利益	537,103	679,127	1,216,231

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第3四半期連結累計期間において計上した減損損失44,856千円は、光事業セグメントに係るものであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	7,215,552	6,228,374	13,443,927
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,215,552	6,228,374	13,443,927
セグメント損失(△)	△820,416	△602,110	△1,422,526

(注) セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

前第2四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。